

## バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】豊岡市バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km <sup>2</sup> )
18	2007.3.29			兵庫県	豊岡市	89,208	697.66
構想の要約		市域の約80%を占める豊かな森林とその間に広がる農地、そして山陰海岸国立公園に指定されている海岸部、中央部に流れる円山川とその支流といった個性的な自然資源を保全し、コウノトリも住める豊かな環境づくりを進めるために、地域のバイオマスとして「木質バイオマスの燃料化」「菜種のBDF化(燃料化)」「家畜排泄物等の堆肥化」等の利活用方法や推進体制を検討していくとともに、多様な主体の参加や連携によるバイオマスタウンの実現を目指す。					
構想に盛り込まれた事業		木質バイオマス 利活用(チップ・ペレット化施設の導入) BDF化 堆肥化					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス					
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物	○
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部	○		
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○		
廃食用油	○	果樹剪定枝	○		
水産加工残さ	○	竹材	○		
製材工場等残材	○	その他( )			
建設発生木材					
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草	○				
古紙・廃棄紙					
下水汚泥など	○				
その他( )					

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	
飼料化	○	直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他( )		炭化	○
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	
		その他( )	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事
2010.07.27	農村振興局助成措置:平成19年度、豊岡市、菜種、廃食用油バイオディーゼル燃料製造施設の整備

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

**バイオマス利活用目標**  
(バイオマスタウン構想書からコピー)

バイオマス			現 在			今 後		
			賦存量	変換・ 処理方法	利用率	仕向量	利用・販売	利用率
(廃棄物系バイオマス)					45.6%			90.9%
生活系	生ごみ	事業系	4,544t	廃棄焼却	0.0%	3,635t	農業用資材、その他	80.0%
		生活系	7,924t	廃棄焼却	0.0%	1,585t	農業用資材、その他	20.0%
	汚泥	一般廃棄物	6,697t	堆肥化	97.0%	6,496t	燃料化、その他	97.0%
		産業廃棄物	23,394t	燃料化、堆肥化	87.4%	21,055t	燃料化、その他	90.0%
	廃食用油	家庭系	85t	廃棄焼却	0.0%	57t	燃料化	67.5%
事業系		245t	燃料化	17.6%	165t	燃料化	67.5%	
農業系	家畜排泄物	乳牛	9,769t	堆肥化・液肥化	97.0%	9,476t	農業用資材	97.0%
		肉牛	4,964t	堆肥化・液肥化	97.0%	4,815t	農業用資材	97.0%
		豚	73t	堆肥化等	79.5%	67t	農業用資材	92.0%
		採卵鶏	1,332t	堆肥化	49.0%	1,225t	農業用資材	92.0%
		ブロイラー	204,873t	堆肥化	49.0%	188,483t	農業用資材	92.0%
林業系	製材所廃材		7,077t	チップ化	92.2%	6,723t	燃料化、農業用資材	95.0%
	剪定枝	果樹	2t	農地還元、堆肥化	23.6%	1.8t	燃料化、農業用資材	90.0%
		公園	99t	堆肥化、マルチ	28.7%	89t	燃料化、農業用資材	90.0%
	木屑	一般廃棄物	2,540t	廃棄焼却	0.0%	2,286t	燃料化、農業用資材	90.0%
		産業廃棄物	18,216t	農地還元、燃料化	22.0%	16,394t	燃料化、農業用資材、その他(マルチング)	90.0%
(未利用バイオマス)					5.2%			41.8%
林業系	林地残材	間伐材	17,878t	林地放置	0.0%	8,939t	燃料化、農業用資材	50.0%
	竹林		8,243t	—	0.0%	4,122t	燃料化、農業用資材	50.0%
農業系	稲わら		15,000t	飼料化、敷料化、加工	6.6%	4,500t	農業用資材、その他(敷材)	30.0%
	初穀		2,700t	マルチ、床土代替、暗渠資材化、敷料化、堆肥化、くん炭	34.7%	1,350t	農業用資材、その他(マルチング、敷材)	50.0%
	麦わら		20t	敷料化	1.0%	6.0t	農業用資材、その他(敷材)	30.0%
	豆類非食用部		100t	すき込み	0.0%	30t	農業用資材	30.0%
水産系	魚のアラ	一般	170t	製品化(ペットフード)	0.3%	85t	農業用資材、その他(ペット用飼料)	50.0%
(資源作物)					0.0%			12.9%
農業系		菜種	686t	—	0.0%	88t	燃料化、農業用資材、食用	12.9%



## 実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)